



宮城県職員募集2025

一般事務①

業務紹介

◆ 概要

庶務や予算、経理、県税の賦課徴収、用地交渉、
企画等の行政事務

◆ 勤務先

本庁各課

地方機関（県税事務所、地方振興事務所、保健福祉事務所など）

自己紹介

- ◆ 出身 : 宮城県名取市
- ◆ 入庁 : H26.4

入庁後の異動歴（現在入庁12年目）

H26.4～ **出納局 会計課 出納・決算班**

歳計現金及び基金の出納管理など

H29.4～ **気仙沼地方振興事務所 用地班**

防潮堤工事に伴う用地買収・補償など

R2.4～ **企画部 総合政策課 行政評価班**

行政評価、課予算など

R5.4～ **市町村派遣（岩沼市 政策部 まちづくり政策課）**

総合計画策定、ふるさと納税、移住・定住PR、多文化交流など

R6.4～ **総務部 人事課 総務班**

部内調整、栄典、表彰事務など

志望動機

◆ なぜ公務員？

人の役に立つ仕事がしたいと考えていたため。

◆ なぜ宮城県庁？

東日本大震災を経験し、生まれ育った宮城県の復興に直接携わりたいと思った。

これまでに担当した業務の紹介

◆ 会計課 出納・決算班（現：出納管理課）

歳計現金及び基金の出納管理といった財務・経理業務を担当。
県の事業が円滑に進むための根幹を支えるポジションで、主にデスクワークや事務作業が多い業務です。

◆ 気仙沼地方振興事務所 水産漁港部 用地班

用地買収・補償といった現場、地域住民に密着した業務を担当。前所属とは異なり、現場に出ることが多い仕事です。

これまでに担当した業務の紹介

◆ 総合政策課 行政評価班

政策立案・評価に関わる業務を担当。県全体の重要な方針をまとめる重要な役割であり、政策的な視点が求められる仕事です。

◆ 市町村派遣（岩沼市まちづくり政策課）

ふるさと納税や市のPRなど地域の魅力を発信する業務を担当。市町村での勤務は、県庁とはまた異なる視点や課題への対応が求められます。

現在の担当業務の紹介

◆ 人事課

職員の任免、異動、研修、給与、勤務条件、総務部内調整、栄典、表彰など

＜総務班の業務＞

総務部内の調整業務を担当。

部内の業務が滞りなく進むよう、全体の流れを円滑にする役割を担っています。

総務部の業務は県で働くすべての職員に関わるため、内部調整が円滑であることは、県庁全体のチームプレーという環境を支える上で不可欠です。目に見えないながらも重要な基盤業務です。

入庁前のイメージとのギャップ

◆ 入庁前のイメージ

県庁＝静かで机に向かう仕事が多い

◆ 入庁してみたら・・・

意外と外に出ることが多い。必ずしも机上の作業に限定されるものではなく、対外的な活動や住民との接点が多い業務もあることを実感。

仕事をする上で心がけていること

◆ チームプレーを大切に。

自分の役割だけでなく、職場全体の状況を見て補い合う意識を持つ。

◆ 仕事での悩みや疑問を抱え込まず、同僚や上司に相談したり、情報共有をこまめに行うこと。

抱え込んでしまった方が後々大変。

印象に残っている業務

復興に関わる用地買収の担当をしていた時のことです。関係機関との調整や地権者との交渉を何度も重ねました。

当初は難色を示していた方々からも、「これで地域が前に進める」「あなたが担当で良かった」と声をかけていただくことができました。

行政の仕事は決して派手ではありませんが、確実に人の生活を支え、地域の未来に貢献できることを肌で感じた経験でした。

仕事のやりがい

県職員の仕事は、日々の業務のひとつひとつが、県民の暮らしや地域の未来に確実に繋がっていることが何よりのやりがいです。

例えば、予算や人事といった内部的な業務であっても、その先には必ず「現場で働く職員」や「サービスを受ける県民」がいます。直接感謝される場面は少ないかもしれませんが、陰ながら組織全体を支えているという実感が、誇りにもなっています。

また、幅広い分野で経験を積む中で、政策の立案から住民対応まで、多様な視点や課題に触れられることもこの仕事ならではの魅力です。

職場の雰囲気

堅そうとか静かそうっていうイメージを持たれがちですが、実際はそんなことはありません。

わからないことがあれば気軽に聞ける雰囲気があって、上司や先輩も丁寧に教えてくれます。

もちろん忙しいときもありますが、「一人で抱え込まず、みんなで助け合う」という空気が自然とあるので、精神的にも安心して働けます。

年齢や所属を超えて話しやすい雰囲気があって、業務外でもちょっとした雑談や、リフレッシュの時間があったりと、良い距離感で人間関係が築けていると感じています。

宮城県職員の魅力

福祉、観光、教育など、分野は多岐にわたり、どの仕事も県民の暮らしに直結しています。

部署異動や他の団体への派遣など、さまざまな立場・視点から行政に関われるのも県職員ならではのです。また、自分の成長を実感できる場面が多くあります。「こんな分野にも関われるんだ！」という発見があるのも面白いところです。

宮城が好き、地元に貢献したいという思いがある方にとって、本当にやりがいのある職場だと思います。

私の公務員試験対策

公務員試験の勉強は、科目数が多く範囲も広いので、いきなり完璧を目指すのではなく、「できるところからコツコツと積み上げる」ことを大事にしていました。

面接対策では、なぜ公務員になりたいのか、なぜ宮城県なのかを自分の言葉でしっかり語れるよう、何度も書いては見直し、練習しました。

本番では緊張もしましたが、「自分の言葉で伝えよう」と心がけたことが、結果的に良かったのかなと思っています。

先輩職員からのメッセージ

正直、最初は「公務員って、ちょっと堅くて静かな職場なのかな」と思っていました。

でも実際に働いてみると、わからないことがあれば自然と声をかけ合える雰囲気があって、年齢や立場に関係なく相談できる人がたくさんいました。今では心から「この職場に来てよかった」と感じています。

公務員試験の勉強は、決して簡単な道のりではありません。でも、その努力は知識としてだけでなく、自分自身と向き合う時間としても、きっと大きな意味を持つはずです。

皆さんと、同じ職場でともに働ける日を、心から楽しみにしています。